

ミツバチ軍団ベスト8

第103回全国高等学校サッカー選手権大会

千西一遇

号外

号外
(号外・速報通算 No.14)
発行
2025年
1月9日(木)
上田西高校
新聞委員会
編集局

編集局長：塚田 礼
新聞委員長：大澤 理子

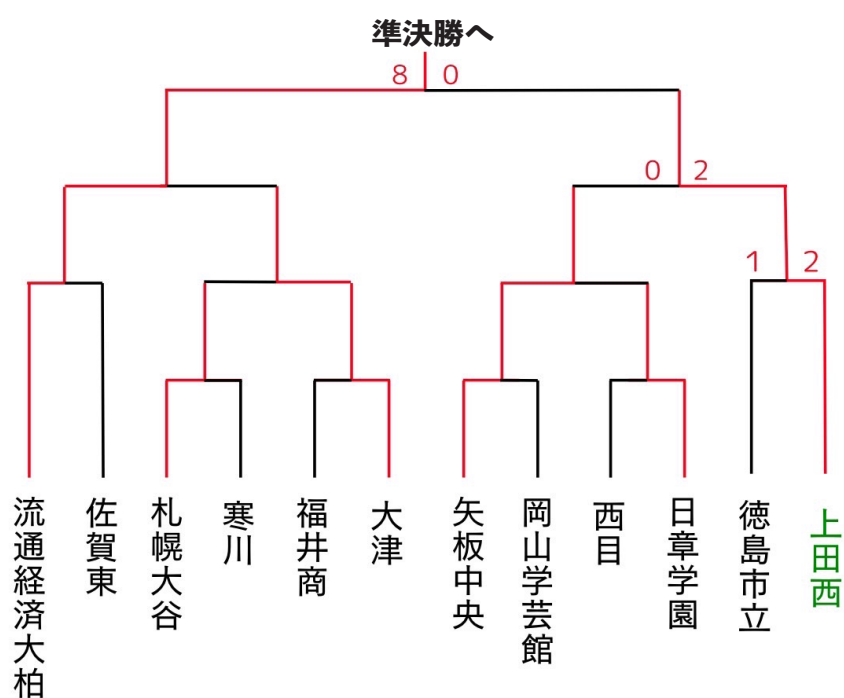
田村さくら
小林 さら



第103回全国高等学校サッカー選手権大会準々決勝 75分、献上したPKのピンチでセーブを試みる上田西 GKの牧野 撮影=塚田 礼

準々決勝 上田西 0 - 8 流通経済大柏

第103回全国高等学校サッカー選手権大会 Cブロック勝ち上がり



12月28日(土)に始まった第103回全国高等学校サッカー選手権大会。2回戦からの登場となった上田西は初戦の徳島市立高校戦で、格上相手に2対1で勝利。続く3回戦は過去4度のベスト4を経験している強豪矢板中央高校を接戦の末2対0で破り、ベスト8入りを果たした。

3回戦後の囲み取材の中で白尾秀人監督は全員でハードワークを徹底したチームを「黄色のミツバチ軍団」と表現。「全員で体を張ってチクリと刺す」。そんなサッカーに全国の注目が集まった。

7大会ぶりの出場で前回大会同様ベスト4入りを目指した準々決勝は流通経済大学付属柏高校と対戦。上田西らしさを見せ奮闘し、最後まで足を止めずに走り続けたが、優勝候補の勢いを止められず0対8で敗れた。

ハードワークを徹底し、ジャイアントキリングを2回成し遂げたチームは満身創痍だった。多くの負傷者を抱え3回戦ではディフェ

どんな状況でも諦めず仲間のために、上田西のために戦った選手たちは学校の誇りだ。敗戦後最後に流していた涙はとも輝いていた。

(大澤理子・小林さら)

快進撃見せるも準々決勝で敗退 ハードワーク貫き爪痕を残した「感動のサッカー」